

事務事業評価表 平成25年度

政策 明日につながる産業の振興
 施策 都市型農業の推進
 基本事業 生産性の高い農業経営の確立

事業名 **地域農業経営安定推進事業**

[0036]

部名	経済部	事業開始年度	平成6年度	実施計画事業認定	非対象
課名	農業振興課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
<p>対象</p> <p>(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市内の農業者</p>	<p>手段</p> <p>(事務事業の内容、やり方、手段) 農業経営基盤強化法に基づき、基本構想の策定や認定農業者の認定等を行う 平成24年度からは国の新事業に対応するため「農地プラン(地域農業マスタープラン)の作成およびその検討会議などを開催する。 【平成25年度からは、国の「経営体育成支援事業」の事業実施主体として、農業機械等を導入する地域の中心となる経営体を支援する。】</p>
<p>意図</p> <p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 農業経営基盤強化法に基づき、経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体を育成する。</p>	

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度当初
対象指標1	農業者数(1月1日現在)	人	1,290	1,269	1,245	1,245
対象指標2	農家戸数(1月1日現在)	戸		473	449	449
活動指標1	当該年度認定件数	件	45	54	48	126
活動指標2	人・農地プラン検討会議開催数	回			1	2
成果指標1	認定農業者数	件	307	303	296	298
成果指標2	地域の中心となる経営体数	経営体			339	338
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	31	32	1,509	123,580
正職員人件費(B)		千円	2,418	2,408	3,206	4,028
総事業費(A)+(B)		千円	2,449	2,440	4,715	127,608

費用内訳	
24年度	旅費 4千円、需用費 94千円、役員費 2千円、使用料及び賃借料 9千円、負担金 補助及び交付金 1,400千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	市内農業者が国の事業を利用するために必要な、人・農地プランの作成や、認定農業者の認定のための農業経営基盤強化促進基本構想の作成などを行う事務事業。
--------	--	-------------	---

24年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業

妥当である

妥当性が低い

理由
・
根拠は？

農業経営基盤強化促進法や国の事業実施要綱に基づく事務です。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい

貢献度ふつう

貢献度小さい

基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

経営感覚に優れた農業経営体を育成することは、つまるところ農業経営の健全化が目的であることから、生産所得の向上にもつながり上位基本事業への貢献度はあります。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

あがっている

どちらかといえばあがっている

あがらない

理由
・
根拠は？

対象については、ほとんどは既に認定農業者となっている人の更新で、新規申請者は年数件程度あります。また、人・農地プランの地域の中心となる経営体の大多数は、認定農業者です。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大

成果向上余地 中

成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

管理的な事業なので成果向上についての余地はありません。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある

ない

理由
・
根拠は？

法や国の事業実施要綱に基づく一定の担い手対策なので、コストを削減することは難しいです。